ISSN 0917－4508

南山大学図書館報

NANZAN UNIVERSITY

ΔΥΝΑΜΙΣ
～デュナミス～

No.44 2003.10.1

CONTENTS

1 図書館の思い出　経済学部講師：唐澤幸雄
2 私立大学図書館を取り巻く状況と CAN 私立大学コンソーシアム　情報サービス担当課長：笹山達成　閲覧・参考係：市江かおり
4 インドネシアの本を読んでみよう！　受入係：榎本真弓　受入係：榊原朋子
6 資料紹介　名古屋視聴覚ライブラリー　瀬戸図書館マルチメディアルーム　閲覧・参考係：大橋直美
8 名古屋図書館からのお知らせ　閲覧・参考係：牧野多完子
10 瀬戸図書館からのお知らせ　教育研究支援係：佐藤裕子
12 南山大学図書館　秋の企画展 おいしい映画の楽しみかた
秋学期　図書館利用講習会のお知らせ
冬期休暇中の臨時開館についてのお知らせ
編集後記

図書館の思い出

唐澤　幸雄

私は、小さい頃、本が大嫌いであった。本を開き活字を見るといつも眠くなってしまい、とにかくつまらないと思っていた。その頃自分で購入した本といえば漫画雑誌ばかりで、（特に放課後は）何だか暗い雰囲気の学校の図書館には絶対に近づかなかったものである。（この漫画好きの習慣は現在も続いていて、講義以外で学生と話すときなど漫画に関する話題で困ったことはこれまで一度も無い。）そんな自分が、現在こうして本に囲まれた生活をしているのだから人生わからないものである。

そういう訳で、私が図書館と付き合うようになったのは主に大学生になってからであるが、そのきっかけも決して自発的なものではなかった。大学の講義についていけず、友人に講義内容について教えてもらうためであった。お恥ずかしい話であるが、勉強せずに遊びまわっていたお陰で大変な劣等生になっていたのである。しかし、毎日図書館に出入りし勉強しているうちにその雰囲気が次第に好きになり、やがて特別な目的が無くても自ら進んで通うようになった。その場に足を踏み入れるだけで、何となく厳かな、そして少しお利口になったような気がするから不思議なものである。そして何より、図書館が大学における一番の「宝の山」であることに気付いた。学生、職員、そして教員というように様々な人々がこの場所に集い、そしてやがてはこの場所から去ってゆくであろう。しかし、書物だけはそこにとどまり続ける。そして、それぞれの書物に記されている内容の一部を自らの知識として名も知らぬ人々と共有し続けるのである。実際、自分が借りた本を過去に誰かが借りたことがあることを知ったときなど、何ともいえない良い気持ちになる。（ただし、書き込みなどがあった場合は、逆に悲しい気持ちになるが。）もし仮に「どのようなことからその大学の歴史を感じるか？」と聞かれたら、「建物の年数」、「卒業生の人数」などさまざまな答えが返ってくると思うが、私は「書物の所蔵数」と答えたい。

研究者の端くれになった今、学生時代に自分の師匠から「本だけはケチらずに買っておいた方が良い。」と言われたことを思い出す。その言葉を実践したいのだが、何分現在の自分の予算には厳しい制約があり、なかなか理想通りには実践できそうもない。そんなとき、充実した図書館の存在は何とも有り難いものである。私は不器用な人間なので、多くのことを両立できず、現在は専ら名古屋図書館地下の書庫にある論文雑誌のコーナーばかりを利用している。しかし、もし可能であるのなら、自分の研究に関係する書物だけでなく様々な分野のものを読んで心豊かに暮らしていきたいものである。学生諸君にも、是非この「宝の山」を有効に活用し、有意義な生活を送ることを薦めたいと思う。

（Yukio KARASAWA：経済学部講師）

私立大学図書館を取り巻く状況と CAN私立大学コンソーシアム

1. コンソーシアムとは

近年、大学図書館を取り巻く状況は大きく変化しています。資料媒体の変化、少子化時代を迎えた大学経営環境の変化、地域からの要請などさまざまな要因があり、それらをうけて図書館のサービス、業務が劇的に変化してきています。

今回は、これらの変化の中から利用者の皆さんにも関係する事柄、コンソーシアム（Consortium）について紹介します。

コンソーシアムとはもともと大規模開発事業の推進や大量な資金需要に対応するため、国際的に銀行や企業が参加して形成する借款団・融資団といった国際資本連合・財団であり平たく言えば組合・協会を意味する言葉ですが、図書館界においては、1960年代にアメリカでそれぞれの図書館で作成する目録情報を共同で作成することから始まりました。当初は、図書館管理業務面の協力がその主なものでしたが、近年では、電子ジャーナルの共同契約や人的資源の共有・共同選書・共同レファレンスなどを行うための結びつきと多種多様になっています。日本においては、東京・多摩地区５大学の「多摩アカデミックコンソーシアム」（1995年）、明治大学や法政大学など８大学で形成する「山手線沿線私立大学図書館コンソーシアム」（2000年）などの図書館間相互利用のほか、大学間や地域とのコンソーシアムとして京都における国公私立大学・経済団体・京都市など地域全体で協力関係を形成する「大学コンソーシアム京都」（1998年）などさまざまなところで始まっています。

南山大学図書館でも2000年10月にこの地区の私大同士では初めて図書館コンソーシアム「CAN私立大学コンソーシアム」を中部大学附属三浦記念図書館、愛知学院大学附属図書館と締結しました。当初は、電子ジャーナルの共同購入からスタートしましたが、2002年度からは、図書館相互の利用についても取り決め、利用者のみなさんにより利用してもらえるような活動も行っています。詳しくは、次のページで紹介します。

今後、ますます多種・多量となっていく資料や情報を的確に利用者のみなさんに提供していくには、単独の図書館では限界があり、それぞれの大学、図書館の特徴を活かした、より緊密な協力関係を築いていく必要があります。

2. 利用者から見たコンソーシアムのメリット

図書館コンソーシアムは、図書館の管理・運営面でだけでなく、利用者のみなさんにもメリットがある結びつきです。

一つには蔵書数の増加が挙げられます。コンソーシアムを組むことによって加盟館の蔵書がより一層利用しやすくなることから、あたかも自館の蔵書が増加したかのような恩恵を得ることができます。CAN私立大学コンソーシアムでは３館合計で177万冊となります。

二つめに電子ジャーナルやデータベースの共同購入による価格面でのメリットが挙げられます。購入コストは図書館管理運営上の問題ですので利用者のみなさんに直接関係することではありませんが、購入価格が下がることは同じ予算でより多くの電子ジャーナルやデータベースを契約することが可能となり、最終的には利用者のみなさんに多くの資料、情報を利用してもらえることになると考えています。

三つめは、これは将来的なこととしていつ実現できるかわかりませんが、共同レファレンスを検討していきたいと思います。単なる資料の利用という結びつきだけでなく、レ

ファレンス要求をコンソーシアム加盟館のどこででも受けられるようにし、それぞれの専門分野やレファレンスツールを活用し、図書館の特徴を活かしながら回答していくことを考えたいと思います。

南山大学は、今後ますます高度化・学際化していく教育・研究と学生からの学習に対する多様なニーズに対応するために、今年度から愛知学長懇話会が中心になって立ち上げた単位互換制度に参加しています。また、地域社会や国際社会において果たすべき役割のために6月3日「コンソーシアムせと」の包括協定書に調印し、6月9日には豊田工業大学と協定を結んでいます。図書館としても大学の教育・研究をサポートする中枢機関としての役割を果たすべくコンソーシアムを形成し、相互協力と相互競争の中で大学の構成員である学生、教職員に対してはもちろんのこと、地域社会にも貢献していきたいと考えています。

現在利用できるCAN私立大学コンソーシアムのサービスについて

（2003.10.1現在）

サービス　その1

紹介状なしで図書館を利用することができます！

CAN加盟大学の図書館は、学生証または身分証明書のみで利用することができます。各図書館で利用登録後、館外への貸出も可能になります。

（通常、他大学図書館を利用するためには、学生証または身分証明書と「紹介状」が必要です。紹介状の発行は、本学図書館のレファレンス・カウンターで受付します。）

サービス　その2

無料で南山大学に図書を取り寄せて、借りることができます！

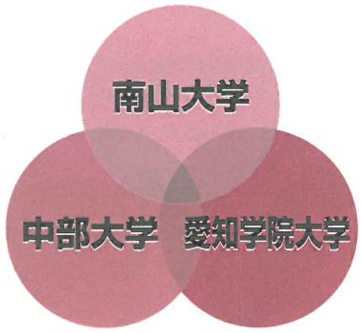
CAN加盟大学図書館の図書は無料で取り寄せすることができ、館外貸出も可能です。

（通常、他大学図書館から図書を取り寄せて利用する場合、郵送料などは申込者の実費負担となり、また、館外への貸出はできません。）

必ず各図書館の所蔵を調べてから、貸出・返却カウンターへお申込ください。

※CAN相互利用は、学内専任教職員・学部生・大学院生のみを対象としたサービスです。
※参考図書や特殊文庫など一部資料は、取り寄せ、貸出ができませんのでご了承ください。
※CAN相互利用についての詳細は、カウンター、または南山大学図書館ホームページにてご確認ください。

今後も
“できることをできるところから（CAN）”
をキャッチフレーズに共同での活動を広げていきます。
ご期待ください！！



（Tatsunari SASAYAMA：情報サービス担当課長 笹山 達成
Kaori ICHIE：閲覧・参考係 市江 かおり）

Mari kita membaca buku bahasa Indonesia !
インドネシアの本を読んでみよう！

名古屋図書館では現在、インドネシア語の図書を大量に購入し、配架するための準備作業をしています。これは、全体で9,000冊にも及ぶもので、「マラバール・コレクション」と呼ばれています。今回、このコレクションとインドネシアについて、本学アジア学科の森山幹弘先生にお話を伺いました。また、この準備作業のために図書館で臨時職員として勤務している、森山ゼミ生でアジア学科４年生の山口季絵さんと谷美貴子さんにおすすめの本を紹介してもらいました。

マラバール・コレクションとは？

インドネシアのバンドゥンで、戦後まもなく開業された個人経営の老舗書店『マラバール書店(Toko（本）Buku（店）Malabar)』が保有していた、人文・社会科学系を中心とするインドネシア語の原書コレクションです。経営者のヨウ・ペンヒン（Jeo Peng Hin）氏が亡くなられ、これまでのような書店の経営が難しくなったことから、生前ヨウ氏と親交のあった森山先生の紹介で、南山大学図書館がその書籍を一括して受け入れることになりました。このコレクションは、戦前から現在に至るまでの間にインドネシアで出版された様々なジャンルの書籍が集められており、その中には既に入手不可能となったものも数多く含まれています。また、小学校の教科書や子ども向けの易しい読み物から研究書に至る難解なものまでを網羅しているのが大きな特徴です。日本におけるインドネシア語の図書流通が非常に困難な状況の中で、このようにまとまった形で多くの貴重なインドネシア語の原書を入手できたことは、本学のみならず、日本の図書館にとって大変意味のあることといえます。

インドネシアってどんな国？

正式国名：インドネシア共和国
”インドの島々”という意味の国名からもわかるように、赤道南北の大小13,700ほどの島々からなる世界最大の群島国家であり多民族国家です。

首　都：ジャカルタ

通　貨：ルピア（１ルピア＝0.017円／2003年６月23日現在）

宗　教：イスラム教・キリスト教・ヒンドゥー教・仏教

歴　史：17世紀からオランダの植民地となり、第二次世界大戦中は日本軍政下にあったインドネシアは、1945年８月17日のスカルノによる独立宣言により、“インドネシア共和国”という国が誕生しました。300あまりの民族と約250の言語があり、一つの国、民族、言語をつくるために、「多様性の中の統一」を国のスローガンとしています。

公用語：インドネシア語。他にジャワ語・スンダ語など多数の地方語があります。言語はローマ字表記。

おもしろいインドネシア語の本

山口季絵さんと谷美貴子さんがおすすめする本を紹介します。

Kawih Sunda
民謡　スンダ

『スンダ民謡』

スンダ語＊の歌の教科書（小学生用）
音階が五線譜ではなく、数字で表わされている。
著　者：不明
出版社：バンドゥンの Pustaka Dasentra 社
出版年：1983年
請求番号：767K/252
＊スンダ語…インドネシアの地方語の一つで、西部ジャワを中心に居住するスンダ人が使用する言語。言語人口3,000万人。

Dongeng-Dongeng Asia Bacaeun Barudak
昔話　読みもの　子ども

『子ども向けアジアの昔話』

原書の Folk tales from Asia for children everywhere をスンダ語に翻訳したもの。日本の他に、韓国やネパールの昔話も掲載されている。
訳　者：Pamira
出版社：ジャカルタの Pustaka Jaya 社
出版年：1976年
請求番号：388.2K/246/v.1
388.2K/246/v.2

Indonesia 1967-1980

『インドネシア1967から1980』

インドネシアの新聞 Kompas に掲載された風刺画を集めたもの。
著　者：G.M.Sudarta
出版社：ジャカルタの Gramedia 社
出版年：1980年
請求番号：726K/297

Sepakbolaria
Sepakbola サッカー＋ria 愉快な

『愉快なサッカー』

サッカーを題材にした4コマギャグ漫画。
著　者：Hanung Kuncoro
出版社：ジャカルタの Gramedia 社
出版年：1992年
請求番号：726K/296

Upacara Perkawinan Adat Jawa
儀式　結婚　慣習法　ジャワ

『ジャワの慣習法による結婚儀式』

花嫁花婿の化粧方法、衣装などが写真入りで解説されている。
著　者：Thomas Wiyasa Bratawidjaja
出版社：ジャカルタの Pustaka Sinar Harapan 社
出版年：1995年
請求番号：385.4K/230

参考図書：『東南アジア文学への招待』宇戸清治・川口健一編、段々社、2001年

（Mayumi ENOMOTO：受入係 榎本 真弓
Tomoko SAKAKIBARA：受入係 榊原 朋子）

資料紹介

こんな資料も揃っていますが、ご存知でしたか？図書館にある資料は本だけとは限りません。カセット・ビデオ・CD・DVD・マイクロフィルムなど様々な媒体資料を所蔵しています。今回は視聴覚資料を紹介します。

＊名古屋視聴覚ライブラリー＊

視聴覚ライブラリーに新たに問題集コーナーが設けられました。語学の各種試験に臨もうと考えている方、必見です。

【視聴覚ライブラリーについての詳細は8ページの「名古屋図書館からのお知らせ」をご覧下さい】

TOEFL

『TOEFLテスト完全対策：コンピュータ受験対応』
【DRILLG-F/2002】【DRILLG-L/2002(瀬戸図書館)】

2000年よりTOEFLテスト（海外留学用語学試験）にコンピュータ版が導入されました。この資料にはコンピュータ版の模擬試験プログラム、解答方法や出題傾向と対策が収録されています。

TOEIC

『TOEICテストこつのコツ』　【DRILLG-F/2002】

TOEICテストはリスニングセクションとリーディングセクションに分かれており、本書では各パートの対策方法を示し、勉強する際のヒントも盛り込んであります。またCDにはリスニングセクションの問題を収録してあります。

IELTS

『Cambridge practice tests for IELTS』　【DRILLG-F/2003】

主にイギリス連邦（コモンウェルス）で実施されている英語を母国語としない学習者のためのテスト・IELTS（International English Language Testing System）の問題集です。本書には実際の試験に沿ったリーディングの練習問題、テープにはリスニングセクションの問題が収録されています。詳しい解答説明により自分で学習を進めることができます。

中国語検定試験

『中検2級・1級問題集』　【DRILLG-F/2002】【DRILLG-L/2002(瀬戸図書館)】

日本中国語検定協会が一年に3回、中国語学習者の為に検定試験を実施しています。この資料は2001年度に実施された試験問題と実力養成のための模擬試験を収録した問題集です。また、附属資料のCDはヒアリング対策に、解答には丁寧で詳細な和訳と解説が掲載されています。

視聴覚ライブラリー内の展示架では、毎月特集を組んでライブラリー所蔵のお薦めビデオやDVDなどを展示しています。また、入口前の掲示板では新着資料の紹介も行なっております。Check it out!

資料紹介

＊瀬戸図書館 マルチメディアルーム＊

紹介したい資料はたくさんありますが、各媒体から人気のある資料を一点ずつ紹介します。

【マルチメディアルームについての詳細は10ページの「瀬戸図書館からのお知らせ」をご覧下さい】

ビデオカセット

『プロジェクトX～挑戦者たち』　【P/210L】【ME/210/3-1/(名古屋図書館)】

NHKの人気番組「プロジェクトX」は、熱い情熱を抱き、使命感に燃えて、戦後の画期的な事業を実現させてきた「無名の日本人」を主人公とする「組織と群像の知られざる物語」です。DVDでも所蔵しています。

CD

『CDで聴くキリスト教音楽の歴史：初代教会からJ.S.バッハまで』
【C/760L】【MF/765/10/(名古屋図書館)】

ヨーロッパ社会のあらゆる音楽活動の基礎となったキリスト教音楽のCDコレクションです。グレゴリオ聖歌やお馴染みのクリスマス協奏曲集などのCDが揃っています。

CD-ROM

『スミソニアン アメリカ：アメリカの歴史と文化』　【A/250L】

世界最大規模を誇るアメリカ・スミソニアン博物館の所蔵品の中から、アメリカの歴史・文化に関するものをピックアップし収録しています。音声つきのスライドショーやリンク機能により、分かり易くアメリカの歴史・文化をより深く知ることができます。

DVD

『黒澤明 DVD-Box：The Masterworks』　【D/770L】

日本の巨匠・黒澤明監督の超大作『七人の侍』をはじめとする代表作品23タイトルをラインナップ。最新デジタル技術を駆使して、黒沢作品の持つ重厚かつ繊細な画像美を究極のクオリティで実現したDVD全集です。今後は、「ディズニー映画」をシリーズで収集予定です。ご期待あれ！

（Naomi OHASHI：閲覧・参考係 大橋 直美）

名古屋図書館からのお知らせ

名古屋図書館に新聞コーナーができました！

これまで図書館１階フロアに置いていたカード目録ボックスを、地下１階書庫入庫カウンター前へ移動させ、2003年５月より新たに新聞書見台を設置しました。書見台は６台で、12紙を置いて見ることができます。これに伴い、ブラウジングコーナーに置いていた国内の主要な新聞やグラウンド側の窓際にあった海外の新聞を、すべて新聞コーナーへ移動させました。

書見台のうち３台には、朝日新聞、中日新聞、読売新聞、日本経済新聞、The Japan Times、Daily YOMIURI の６紙の最新号が常設されています。他の３台（６紙分）は、ラックにかかっている自分の読みたい新聞を、バインダーごとセットして自由に読むことができます。

新聞コーナーは図書館に入ってすぐ、グラウンドに面した窓際の明るく開放的なスペースです。朝一番の静かな図書館で新聞を読むのもよし、授業の合間に今日の出来事や事件をチェックするのもよし、たまには海外の新聞を読んで世界の文化や社会に触れるのもよいでしょう。ぜひ一度、新聞コーナーを覗いてみませんか？

■図書館１階新聞コーナーには、以下のタイトルの新着分が置いてあります。

■国内の新聞■		■海外の新聞■	
①朝日新聞	②中日新聞	KOMPAS(インドネシア)	RHEINISCHER MERKUR(ドイツ)
③毎日新聞	④読売新聞	人民日報(中国)	The Straits Times(シンガポール)
⑤産経新聞	⑥日本経済新聞	REPUBLIKA(インドネシア)	The New York Times(アメリカ)
⑦日経産業新聞	⑧日経金融新聞	Financial Times(イギリス)	The Catholic Review(アメリカ)
⑨日経流通新聞	⑩中部経済新聞	THE TIMES(イギリス)	Boletin Oficial del Estado(スペイン)
⑪ The Japan Times	⑫ Daily YOMIURI	DIE ZEIT(ドイツ)	法律新聞(韓国)
⑬週刊 ST (Student Times)	⑭中日スポーツ	Le Monde(フランス)	La Quinzaine litteraire(フランス)
⑮週刊読書人	⑯図書新聞	EL PAIS(スペイン)	Frankfurter Allgemeine(ドイツ)
⑰カトリック新聞	⑱全私学新聞	Das Parlament(ドイツ)	International Herald tribune(米&日)
⑲教育新聞	⑳教育学術新聞		

国内新聞のうち①～⑭の当月分と前月分の原紙は、グラウンド側の窓際の棚にあります。自由に取り出して利用してください。読み終わった後は、元の場所へ日付順に新しいものが上にくるように戻してください。なお、バックナンバーについては、マイクロフィルムや縮刷版の他、原紙を製本して所蔵しているものは OPAC で探すことができます。その他のものについては、カウンターへお問合せください。

視聴覚ライブラリーは
L棟2階です

視聴覚ライブラリーのビデオブースが新しくなりました！

2003年５月にビデオブース12台を新しく入れ替えました。このブースでは、VHS・DVD ビデオを見ることができます。そのうちの１台でβビデオも見られます。

視聴覚ライブラリーでは問題集以外の資料は資料庫に並んでいますので、OPAC を

使って、タイトルや請求番号を調べてください。また、今年度は毎月以下のテーマを決めて資料を展示します。面白そうな資料が見つかったら、資料請求票に必要事項を記入して、カウンターへ申し込んでください。他の人が利用していなければ、いつでも使うことができます。※なお、一部テーマは変更される可能性があります。

10月のテーマ	語学教材　－アジアの言語－
11月のテーマ	映像資料　－アジア映画特集－
12月のテーマ	映像資料　－クリスマス特集－
1月のテーマ	語学教材　－ CD-ROM を使って－
2・3月のテーマ	映像資料　－日本の映画特集－

視聴覚ライブラリーの資料は原則として館内利用です。図書館の本のように、貸出をして教室や自宅へ持ち帰ることはできません。視聴覚ライブラリー内の機器を使って視聴してください。

著作権法を守っていますか？？

図書館でコピーするには、著作権法で定められたルールを守ることが必要です。なんでもかんでも自由にコピーできるわけではありません。ご存知でしたか？

学生：南山太郎さん：大学祭で配るチラシのコピーをしたいんだけど…

図書館司書：花子さん：著作権法第31条により図書館における複写は、定められた範囲で行う場合のみ許可されています。コピーできるのは、図書館に所蔵する資料に限ります。質問のようなチラシのコピーはできません。同様に、テスト前に友達のノートをコピーすることも禁止されていますよ。

：今度のテストの問題、この本から出るんだって！図書館にあったけど、貸出禁止の本だった…ちょっとページ数が多いけど、全部コピーしちゃおうかな？

：著作物（この場合は本ですね）の全部をコピーすることは許されていません。著作物の一部分※1を１部数のみ、調査研究の目的でコピーをとることが許されています。ですから、この場合は本当に必要な一部分を厳選してコピーしてください。

※１）一部分とは、「少なくとも半分を超えないこと」とされています。

：この雑誌に、今、作成しているレポートの参考になる記事が載ってたんです。じっくり読みたいけど、雑誌は館外貸出できないし…コピーしてもいいですか？

：発行後相当の期間※2を過ぎている定期刊行物（雑誌）に掲載された各論文や記事は、その全部をコピーすることが許可されていますから、大丈夫です。ただし、最新号のコピーは許されていませんので気をつけてください。

※２）相当の期間とは、次号が発行されたもの、または発行後３か月が過ぎたものとされています。

なぜ、勝手にコピーしてはいけないの？

著作権法は、著作物を作成した人（著作者）の権利を守るための法律です。不法にコピーしたり、頒布したりすることによって、著作者の権利（著作権）が侵害されるのを防ぐために、コピーできる機関や範囲が定められているのです。これからも、著作権法を守って資料のコピーを行ってください。

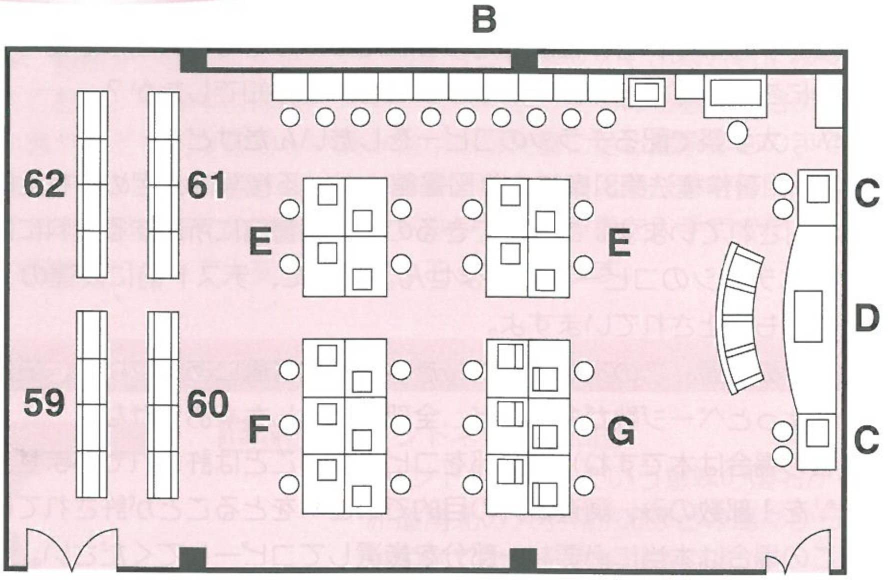
（Takako MAKINO：閲覧・参考係 牧野 多完子）

瀬戸図書館からのお知らせ

使ってますか？　マルチメディアルーム

図書館には本や雑誌だけでなく、ビデオテープ・DVD・CD-ROMなどの視聴覚資料があります。それらの資料はマルチメディアルームに置かれ、開館時間中いつでも自由に利用することができます（閉館15分前まで。一部資料は館外貸出も可能です）。それぞれの媒体の視聴用機器（ブース）については以前ご紹介しましたが（本報No.39）、今回はマルチメディアルームに入っている各資料を取り上げてご紹介します。

マルチメディアルームMAP



●CD-ROM、DVD-ROM　請求番号：A～、B～　棚番号：59　利用ブース：G

パソコン上で使うことができる白書や辞典類、また、統計や雑誌等があります。資料ごとに利用できるブースが指定されていますのでパッケージのラベルを確認の上、利用してください。資料によって館外貸出できるものとできないものがあります。

●CD　請求番号：C～　棚番号：59　利用ブース：E、F、G

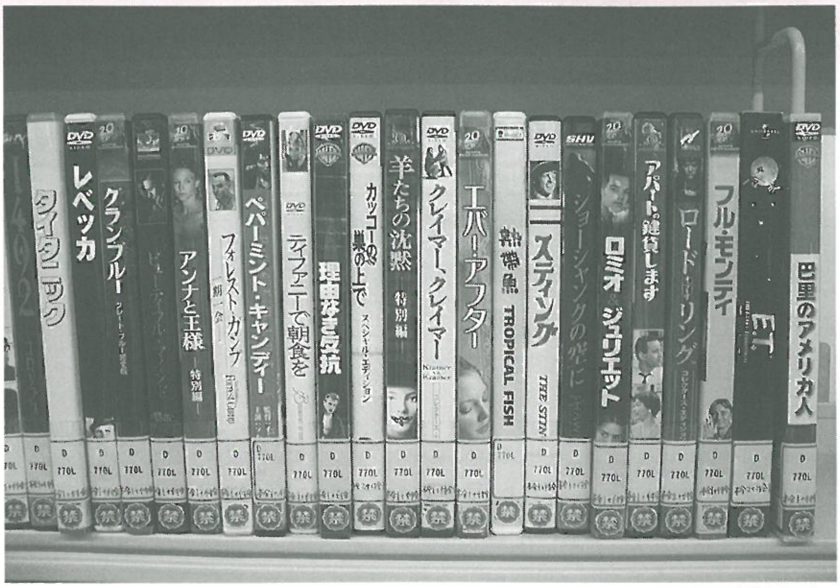
クラシックや民族音楽の音楽CD、語学教材等の音声CDがあります。CDプレーヤー設置ブースにて、ヘッドフォンを使ってご利用ください。館外貸出が可能です。

●カセットテープ　請求番号：Q～　棚番号：62　利用ブース：B

語学教材を中心に揃えています。カセット用ブースにて、ヘッドフォンを使ってご利用ください。また、CDと同様に館外貸出が可能です。

●DVD Video　請求番号：D～　棚番号：59　利用ブース：C、D、E、G

ドキュメンタリーや映画作品等があります。映画は、語学学習を目的とした作品を中心に集められており、アカデミー賞受賞作やディズニーアニメなどを中心に数多く揃えています。洋画のDVDは、自分の好きな音声（吹替／オリジナル）や字幕（日本語／英語）を選べるものが多いので、語学学習には便利なメディアです。また、日本の作品では黒澤明監督作品、英語圏以外ではカンヌ国際映画祭の受賞作など、良質な作品もあります。残念ながら館外貸出できない資料がほとんどですが、みなさんに見ていただけるように昨年DVDデッキを8台増設し、全17のブースで視聴できるようになりました。



●ビデオテープ　請求番号：P～　棚番号：60、61、62　利用ブース：C、D、E、F、G

放送大学ビデオ教材、映画、スポーツ、コンピュータ、語学等、幅広い資料があります。海外の映画のビデオに「CC」シールがついているものは、クローズドキャプション対応資料で、好きな場面で英語字幕を表示させたり、消したりしながら、映画を見ることができます。資料によって、館外貸出できるものとできないものがあります。

この他、マルチメディアルーム内には、問題集コーナー（館外貸出不可）や、指定図書になっているビデオ資料が置かれています（棚番号：62）。また、CNNニュースが視聴できるスペース（利用ブース：C、D）もあります。

「宝の山（？）」がたくさんのマルチメディアルーム。
時間を見つけて、是非活用してください。

（7ページにマルチメディアルーム内の資料紹介が掲載されています。そちらもあわせてご一読下さい。）

（Yuko SATO：教育研究支援係 佐藤 裕子）

南山大学図書館　秋の企画展

おいしい映画の楽しみかた

瀬戸図書館

期間　2003年10月20日(月)～10月26日(日)
時間　9時30分～閉館時間まで
会場　瀬戸図書館　ブラウジングコーナー　横
※10月26日(日)は図書館休館日ですが、企画展のみ入場出来ます。(10時～16時)

名古屋図書館

期間　2003年10月28日(火)～11月8日(土)
時間　8時45分～閉館時間まで
会場　名古屋図書館　1階ブラウジングコーナー
※11月2日(日)3日(祝)は図書館休館日ですが、企画展のみ入場出来ます。(9時～16時)

図書館で映画を楽しもう！

秋学期　図書館利用講習会のお知らせ

開催期間：9月22日(月)～11月21日(金)（ただし土曜日を除く）
申込場所：受講を希望するキャンパスの図書館レファレンス・カウンター

■■個人講習会■■

内容・時間等、あなたのご要望にお応えします！　お友達同士でも参加OK！
・図書館のことが知りたい。NeoCILIUS Knowledge OPACの使い方を覚えたい。
・自分の研究テーマについて書かれた雑誌論文や新聞記事を探したい。
…などなど、興味のある方は、お気軽にレファレンス・カウンターへご相談ください！

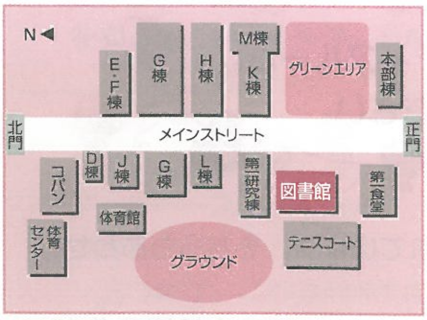
■■ゼミ・講義単位講習会■■

春学期と同様にお申し込みを受け付けています。人数、内容、時間などご相談ください。

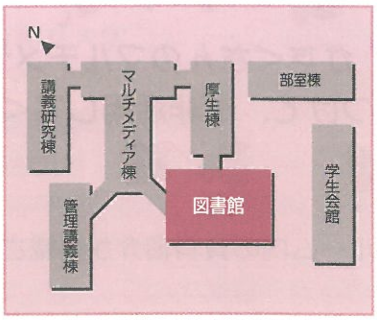
冬期休暇中の臨時開館についてのお知らせ：1月5日(月)から開館します。

今年度の学年暦は、冬期休暇明けに秋学期定期試験を控えています。名古屋図書館・瀬戸図書館では試験に備えて1月5日(月)から開館します。どうぞご利用ください。なお、1月5日(月)・6日(火)は臨時開館のため時間を短縮して開館します。名古屋図書館では18：30、瀬戸図書館では18：00に閉館となりますのでご注意ください。

《編集後記》
この秋、あなたはどんな映画を観ますか？企画展に行けば、映画の見方が変わるかも…!?（杉榊大）



＜名古屋キャンパス＞



＜瀬戸キャンパス＞

南山大学図書館報　デュナミス　No.44
2003．10．1 発行
http://www.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/
発　　行：南山大学図書館　広報委員会
編集委員：大橋(仁)、榊原、杉山
印　　刷：一誠社
〒466-8673　名古屋市昭和区山里町18
Tel：052(832)3707/Fax:052(833)6986